

委員会だより

< 12月6日(日) 9名出席 >

■ 行事計画

12/24: 聖夜ミサ後のパーティ 紅茶とサンドイッチ
12/25: 降誕祭ミサ後の茶話会 サロンを軸にプラス α
1/1: ミサ後の賀詞交換会 お酒、乾き物、お新香、etc

■ 行事報告

初聖体 (11/20)、山崎神父誕生日祝賀 (12/4)、黙想会 (12/10)、など

■ 2006 年度中和田教会信徒 " 大会 " に関する準備:

- ✦ 1/22 のミサ終了後～13 時に開催
- ✦ 会計監査人 別途選定。 監査日は 1/14 とする。
- ✦ 信徒大会では、献金の目的と使い道を信徒の皆さんによく知っていただくことに注力する。
- ✦ 次期委員選出
- ✦ 中和田教会委員会運営規定改訂 (案): 委員任期、委員人数など

■ バザー反省会 (11/27) の報告:

- 以下の項目が、今後の継続検討課題として提起された。
- ✦ 売り場での食券販売可能性、及び " 予備 " の見極め。
 - ✦ ガスコンロ関係の問題
 - ✦ 抽選のやり方、等々

■ 各委員より

- ✦ 要理: 聖劇の衣装代は教会会計から負担することで OK
- ✦ 営繕: 補修・修理で武田さん、鶴田さんにご尽力を頂いている。 また来年度に補修・修理したい項目 (バリアフリー化など) を今月の例会で募って欲しい
- ✦ 布教: 一粒会委員の改選
- ✦ マリア会:

- ◆ マリア会残金全て建設会計に寄付する
- ◆ 年度末にマリア会は例年 3 箇所へ寄付を贈っている。教会として続けて頂けるのか? ⇒ 別途検討

■ ヨゼフ会とマリア会の連絡網統合 ⇒ 教会全体としての連絡網:

- ✦ まずはどういう情報を流すのか、の吟味が必要 ⇒ 継続審議
- ✦ 連絡網の維持・管理・連絡の発信元 ⇒ 委員会
- ✦ ヨゼフ会、マリア会どちらにも所属していない人への連絡法
- ✦ 流すべき情報としては、『葬儀に関する連絡』が最も肝要で、まずはこれを軸に連絡体制を組む。
- ✦ 葬儀手伝いについては、既に典礼グループの連絡網があり、葬儀マニュアルについても典礼グループで整備。

■ 聖公会クリストファー教会との合同祈祷会 (今度は中和田が訪問する番)

- ✦ 2 月 19 日に開催。 渡邊神父と委員長 (または副委員長) が対応。



ヨゼフ会だより

< 12月18日(日) 15名出席 >

■ 2006 年以降のヨゼフ会の運営について、運営規定の改訂含めて議論し、下記の結論となりました。

- ✦ ヨゼフ会は、2006 年以降は『親睦団体』として運営していく。(確認事項)
- ✦ ヨゼフ会の運営規定は、当面現状のままで進める。
- ✦ 但し、親睦団体としては現在に役員体制 (会長、副会長、会計、書記) は重過ぎるのでこれを簡素化して、幹事 + 会計に改める。信徒各位の絶大なご協力を頂いて成功裏に終了。ありがとうございました。

■ 10 月～12 月の当番表の確認:

- ✦ 混乱を招いている点があるので、来年度からは典礼関係当番の記載をヨゼフ会当番表から除き、典礼関係は典礼グループの当番表に一元化する。
- ✦ 12/4 に山崎神父様の誕生祝が予定されており、このため 12/11 予定のサロンは 12/4 に繰り上げて実施する方向。
- 上記の議論の過程で出たご意見
- ✦ ヨゼフ会は、これからも " 良識の府 " としての役割を担って行かねばならない。
- ✦ 今後とも、中和田教会全体としての求心力維持拡大をバックアップしていく。
- ✦ 活動する人が固定化することなく、誰でも自然に活動に入っていける雰囲気醸成を図っていく。
- ※ 12/17(土) 夜に開催された懇話会 (忘年会) には渡邊神父様はじめ総勢 18 名の方々に出席頂き、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。有難うございました。

マリア会だより

< 12月18日(日) 35名出席 >

委員会・営繕係より

- ◆ 今後教会内外において修理して欲しい所、改善を要する所等ありましたらご意見をお聞かせ下さいとのことでした。⇒ これに対するマリア会の意見として、お御堂に身体の不自由な人のための椅子が欲しいという要望がありました。

マリア会関係

- ◆ 花坂さん 11 月下旬退院されました
- ◆ 五十嵐さんのご主人が亡くなられましたのでお花料をお渡ししました
- ◆ 神父様方にクリスマスプレゼント (パスネット) をお贈りしました。
- ◆ 2006 年度お掃除の表にお名前をご記入下さい
- ◆ 集会室に掲示板が設置されましたのでご活用下さい
- ◆ マリア会で行っていた寄付について今後委員会では前向きに検討して下さいとのことでした
- ◆ バザーで販売した古着の残りを内藤さんの知り合いであるブラジル、ベタニア会のシスターを通して貧民街にある日系の幼稚園に送りました。
- ◆ 2005 年度の会計報告と活動報告 会計監査は松下さんにお願ひしました。(こんにやくの還元金は直接献金とバザー収益金に入れましたので計上されていません) 尚、12/18 ～ 31 日までに会費及び物品販売還元金に変更があり、一般会計残金 107,971 円 → 111,571 円、特別会計残金 204,529 円 → 211,529 円となりましたので、合計 323,100 円を建設会計に寄付致します。

その他

- ◆ 典礼グループより: 2006 度の典礼グループのお手伝い表にお名前をご記入下さい
- ◆ 岩崎さんより: プロポリスの販売に関してアンケートを取りましたが今まで通り続けて欲しいという意見が多かったのでこれから 3 ヶ月ごとに注文を取り、今までと同じ値段で販売いたします。尚、2005 年度の還元金 17,000 円は教会に寄付します。
- ◆ お茶もプロポリス同様 3 ヶ月ごとに、こんにやく、生コブ、ドロ様うどん、赤飯についても今後も販売することになりました。
- ◆ 12 月号マリア会便り訂正 (パスカ連絡委員 阿部 (映)) 12 月会報マリア会バザー報告の中で女性の会パスカへの高齢司祭援助金 ¥56,000 円 と記されましたが、かつお佃煮代 ¥24,000 円が含まれておりました。その分を差し引いた ¥32,000 円が援助金となります。訂正及び御報告申し上げます。



広報 なかわだ

第 319 号

1 月の予定

元旦ミサ	1 月 1 日 (10 時)
委員会、成人の祝福ミサ	1 月 8 日
ヨゼフ会	1 月 15 日
信徒大会	1 月 22 日



2006 年 1 月号

中和田カトリック教会 広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 18 年 1 月 8 日



新年おめでとうございます

ぱうろ たかのてつお

例年通り、今年も新年がやって来ました! 昨年は大変お世話になりました。ありがとうございました。

古いものが過ぎ去り、すべてが新しくなる。今までの事を感謝しながら、新たな一歩を歩み出す。昨年は皆様にとって、どのような一年だったでしょうか。一つでも喜びがあったのなら、そのことを感謝したいと思います。もし、一つも喜びがなかったというのなら、それでも今、ここに居て新年を迎えていることを感謝したいと思います。感謝のうちに私たちは主と結ばれて、主のうちに私たちは希望を見いだし、主とともに歩むことが出来るのですから……。

毎年、年末があり年始がある……終わりがあって、始まりがある……この当たり前のことが、実は、とても有り難いことなのですね。今までお世話になった方々を思い出し、忙しさの中で忘れていた友を思い出し、年賀状を送る……これも、新たな繋がりを意識する機会なのでしょう……。

新たな年を与えられた今、あなたは何と、そして誰と新たに繋がりを持とうとしていますか? また何から、誰から、あなたは繋がりを求められていると思いますか? ……それを感じていますか? ……その気配を……。

「見よ、わたしは万物を新しくする」(黙 21:5) と言われ、「見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう」(黙 3:20) と言われた方と新たな繋がりを持つことができますように。アーメン。

新年もよろしく願いいたします。



2006 年度 1 ～ 4 月 予定表 (暫定)

月 日		予 定	月 日		予 定
1	1	神の母 聖マリア 元旦ミサ 終了後賀詞交歓会	3	1	灰の水曜日
				5	四旬節第 1 主日
	8	成人の祝福ミサ		12	委員会
	15	ヨゼフ会総会－新年会		19	ヨゼフ会例会
	22	信徒総会			黙想会－赦しの秘跡 (日程未定)
2			4	1	(土曜日) 大掃除
	12	委員会		9	受難の主日 (枝の主日)、委員会
	19	ヨゼフ会例会		16	復活の主日、ミサ後パーティ
				23	ヨゼフ会例会



聖霊に助けられて

村上 ふみゑ

夫が肺癌で、急きょ茨城から横浜の病院に緊急入院した日から1年6ヶ月。やっと茨城に預けてきた愛犬チビ（12歳・娘）と太郎（3歳・息子）を連れてくる事が出来ました。

大洋村の野原を思う存分駆け回り、自由奔放な生活をしていたので、横浜での都会生活に順応出来るか、吠えて近所迷惑になるのではと不安でした。軽自動車にゲージを積みこみ、その中に2匹を入れて2時間余り。直接戸塚の犬猫病院に運んで傷の手当てや健康診断を受けました。チビは痩せて、腹が異常に膨らみ、息をハアハア吐きながらびっこを引いて歩いていましたが、検査の結果、子宮に腫瘍ができて膿が溜まっているとのことで即手術。癌ではなかったので元気になり、体重も増えてきました。ただ、2匹ともフィラリア虫が入っているので、今後飲み薬で退治することになりました。なにしろ、多量の蚤とダニは病院始まって以来とのこと。娘宅には健康管理万全の室内犬（フレンチブルドッグ）が3匹いるので、それなりの予防策を考え、予防注射や虫の治療で8日間の入院やむなさに至りました。退院後は、娘夫婦が休みを返上して一生懸命作ってくれた犬住宅の木製フェンスも平気でバリバリ破壊し、その度に、何の不平も言わないで修繕してくれる娘婿に、感心するとともに心から感謝しています。

お陰で、私の年金生活はすっかり破産状態になってしまいましたが、犬との関わりを通して、大切なことを教えられた気がします。犬は言葉を話せないが、人間の言葉を理解し、じっと人の顔を見つめ、目で意思を伝えています。私も、相手が何を望んでいるか、それを理解できる心の余裕が欲しいです。成年にあたり、犬に学ばなければと思っています。

お話は変わりますが、過日、「横浜教区報52号」の典礼コーナーの「五感で祈る」を読んでいる、15年前に聖霊刷新に参加した初体験を思い出しました。それは、聖心女子大で、カナダから来日されたタルディ神父様の癒しのミサでした。賛美の歌から始まり、片手を上げる人、次第に両手を上げて立ち上がって賛美する人が増え、私も最初は異様に感じましたが、「幼子のようにになりなさい」のみ言葉が浮んできて、いつの間にかその中に溶け込み、両手を上げて賛美していました。次第に、天使の歌声のような美しい祈りの声が講堂いっぱいに舞い上がり、私は、「めでたし…マリア」を一生懸命唱えましたが、後で知ったのですが、異言のハーモニーだったのです。そして、身体は次第に熱くなり、「主は今生きておられる」「今、共におられる」を実感しました。聖体拝領のときは、主の愛の深さに涙が溢れました。それ以来、ごミサのときは、全身全霊を集中できるように聖霊の助けを祈ります。「典礼は、＜ことば＞だけを使うのではなく、ものも、動作も、体の五感を揺り動かすことも大切なのです」（P6・典礼コーナー）

夫は、肺癌の告知を受けて一ヶ月あまりでこの世を去りましたが、高野神父様の司式でホスピスのベッドの上で洗礼を受け、10日後旅立ちました。神父様に「生前果たせなかった世界平和運動を、あの世でやりたいので…」と書き綴ったものをお見せすると、「村上さんは正義感の強い方ですね」と受けとめてくださいました。その一言によって、村上は救われ、心は開かれ、聖書を聞いて話された「山上の教訓」も心に沁みるように入っていったことでしょう。洗礼式は、全身全霊で捧げられる神父様の祈りで、ローソクに照らされた夫の顔は柔和で光り輝き、まさに聖霊が働いてくださっていたと思いました。看護師さんは、「この部屋はキラキラ光っているようで明るく、気持ちりがホッとしますね」と言われました。

生きた典礼に与るためには、心をつつにして、聖霊の来臨を願うことだと思います。聖霊降臨の時のように。



中和田教会「布教部」のこの一年を振り返る

布教部 竹内 廣治

はじめにあたって

平成18年度・中和田教会信徒総会が1月22日ごミサのあと開催されます。教会の限りない発展と共同体の豊かな交わりを心から願っております。

「布教部」がたずさわった行事について、「報告」という形で説明することを求められると思います。「布教部」報告は下記4点が予定です。

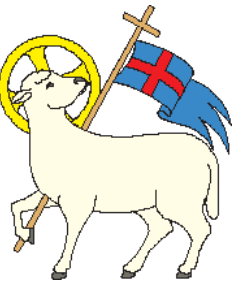
(1) 第五地区福音宣教委員会 (2) 湘南短期キリスト教セミナー (3) 泉区民クリスマス (4) 横浜教区宣教司牧評議会
総会に諮る議案の中には、重要案件がここ数年目白押しの状態が続いております。限られた時間の枠の中では、納得のいく十分な審議も難しいと思いますので、布教部では、概略だけ口頭説明を行い、細部に亘っては「報告書」にまとめて、教会広報「なかわだ」に掲載をお願いしたいと考えました。せつつかれたような報告よりも、皆様の確かな目でお読みいただければ幸いです。

勿論、ご質問やご意見もあろうかと思えます。そのお承りはサロンのテーブルでお茶など頂きながらお聞きしたいものです。ともあれ、「布教部」にお寄せ頂いたご協力を心から感謝いたします。

2005年度第五地区福音宣教委員会報告 <信徒総会資料・その1>

教会を元気に、キリストを証しするために

- ◎ 第五地区福音宣教委員会 第1回定例会議 (4月17日 聖母の園・黙想研修の家)
 - ・出席35名 (7教会、10修道会、1施設) 中和田教会：鈴木師、石川、竹内
 - ・新年度委員の確認紹介
 - ・第14回湘南キリスト教セミナー (鍛冶ヶ谷教会 田坂氏)
 - ・横浜教区宣教司牧評議会総会に向けて、第五地区福音宣教委員会の活動報告書の提出をした幹事教会作成の内容についての質疑応答が行われた
 - ・次の日程及び教区宣教司牧評議会の評議員・グルニエ師の後任に鈴木師着任の確認



- ◎ 教区宣教司牧評議会・地区懇談会 (4月23日 中和田教会新集会室)
 - ・出席25名 (司祭4、修道者3、信徒18) 中和田教会：鈴木師、竹内
 - ・司教様への答申案について討議
 - 「共同宣教司牧に向けての地区福音宣教委員会の在り方」について、委員長がこの問題の背景について解説、各地区の評議員から下記のような意見と問題点が出された。
 - 「総論」について6項、「位置づけ」について4項、「名称」について2項、「連絡協議会」について4項、「教区からの伝達」について4項、「その他ホームページ」について2項、「研修」については神奈川県共同宣教司牧推進委員会 (座長：鈴木神父) と連携する。

- ◎ 第五地区福音宣教委員会幹事会 (7月9日 大船教会会議室)
 - ・出席：鈴木師、Sr.川辺、野間 (原宿) 松本、渡辺 (戸塚) 竹内 (中和田)
 - ・10月2日開催予定の第2回定例会議に向けて、議案作成のあれこれを協議。参加各教会に意見と今後の方策を伺う。また、三者の集まりと学習の交流を図ることも考える。まず、小教区意識からの脱却、地区で協力し合える態勢を築き、テーマを設ける。

- ◎ 教区宣教司牧評議会・地区懇談会 (10月8日 茅ヶ崎教会集会室)
 - ・出席18名 (司祭3、修道者3、信徒12)
 - ・「今後の宣教司牧評議会の在り方」について、委員長より評議員の意見を求められる。
 - 意見として、評議員の役割が不鮮明、選出方法が疑問視される、選出母体に報告する「パイプ役」だけでよいのか、選出されても代表者ではないので小教区に反映できず浸透し難い、などの意見のほか、任期と総会についての意見など多くの意見と要望が出された。

- ◎ 第五地区福音宣教委員会 第2回定例会議 (10月2日 原宿教会・めぐみの家)
 - ・出席30名 (司祭7、修道者3、信徒20)
 - ・湘南短期キリスト教セミナーについての準備進捗状況 (鍛冶ヶ谷教会：田坂氏)
 - ・教区宣教司牧評議会総会 (5月28～29日 静岡教会) 報告 (Sr.川辺)
 - 司教様への答申案が了承される。ただし、第五地区で異論があった連絡協議会案については原案のまま了承された。司教様からは、「教区から」よりも「教区に」地区の情報や意見を伝えるとか、提言が届けられる組織が必要ではないかとの意向が示された。
 - ・宣教司牧評議会常任会では、地区福音宣教委員会との関係とか役割を明確化したものを総会に諮ることとなった。
 - ・第五地区福音宣教委員会の今後については、提案された初案を整理し討議された。
 - ① 主任司祭、教会委員長、修道会 (院ではなく) の代表による委員会にする。修道会各会の事情を配慮し、参加は任意とする。
 - ② 連絡会または部会は必要に応じて設けることとする。
 - ③ 委員会の活動内容、開催数は次回の委員会で協議決定する。
 - ④ 事務局は藤沢教会とし、次回定例会は1月22日藤沢教会で開催。案内は現幹事が担当する。年度開始は1月とし、次回を2006年度第1回とする。
 - ⑤ 評議員は、新体制の地区福音宣教委員会のメンバーから選出する。
 - ・各教会の宣教司牧評議会総会の分担金値上げの要請があったが、③の討議の結果、結論は次回に持ち越しとなった。
 - ・2005年度の会計は、2005年12月末で締め、次回定例会に報告する。(中和田・石川)



◆クリスマス探夜ミサ 子供たちによる聖劇◆

